



年 組 名前

道新でワークシート

卓上四季

「静筋」と書いて「じょうきん」と読む。プロゴルファー宮里藍さん(31)の父優氏が造った言葉だ。体の筋肉を表す動筋に対し、物事を判断する能力を指す▼いくら技を磨いても、本番で力を発揮できなければ意味がない。逆境でも最適なプレーを選択できる冷静さを説いている▼そのために藍さんに勧めたのが読書である。何を讀んでもいい。要は静かに呼吸する時が必要という。集中力が高まるそうだ。藍さんは中学時代、年間300冊を読破したと聞く。読書家の元サッカー選手、中田英寿さんの考えに相通ずる▼その藍さんが、今季限りの引退を正式に表明した。高校生で日本ツアー最年少優勝を飾った。世界ランク1位になった輝かしい瞬間は、今もまぶたに残る。ゴルフの師である父を超えた「出藍の誉れ」だろう▼ゆったりとしたフォームから打ち放たれたボールは真つすぐに伸びていく。難しいパットもびたりと決める。接戦になればなるほど目力が強くなる。試合では「藍ちゃん」と言わせないほどの勝負師の顔がのぞいていた。藍さんに憧れてゴルフを始めた若手も既に第一線で戦う。最近は思うような成績ではなかったかもしれないが、お疲れさまと言いたい▼きのこの記者会見で「引き際のさみしさより、支えてくれた人への感謝の気持ちでいっぱい」と語っていた。グリーンを去っても、静筋で活躍する姿が待ち遠しい。

2017.5.30

2017年5月30日朝刊1面

① 宮里優氏が考える「静筋」を鍛える方法を書きなさい。

② 「出藍の誉れ」の意味として、最も適当なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

- ア. 平凡な親がすばらしい子どもを生むこと。
- イ. 苦勞をしながら努力を重ねて大成すること。
- ウ. 互いに磨き合って人格の向上に励むこと。
- エ. 弟子が師匠を越えて優れた力を発揮すること。